

活動報告書

1 団体名

特定非営利活動法人 別府温泉地球博物館

2 活動内容

新温泉資格「別府八湯アンバサダー」の新設 ～魅力あふれる別府八湯の伝道師育成～

「別府八湯アンバサダー」とは、別府八湯を自分の足で周り、その1地域を自分で案内できる知識を持った人材を育成することを目的とした新資格を作成した。本補助事業では鉄輪・明礬・浜脇地区のアンバサダー資格を新設した。また、これら内容の英語化を試みた。

3 活動期間

R5年 7月 6日から R6年 3月 31日まで

4 活動実施内容

【概要】

① 温泉知識を問う問題の整備(簡易温泉マイスター試験)

⇒3時間程度で温泉知識を学習できる問題が完成した。

② 温泉知識を問う試験問題の英語化

⇒①の内容をすべて英語化した。

③ 資格試験アプリ(eラーニング)の作成(日本語のみ)

⇒英語・日本語ともに完成(①、②をeラーニング化) 日本語はモニター実施済(応募104名)。英語は補助終了後もモニター継続予定。

④ 鉄輪、明礬、浜脇のハイキングコースの整備

⇒全コース整備、日本語体験会をすべてのコースで実施。

⑤ ハイキングアプリの作成(日本語のみ)

⇒全コース完成。明礬ハイキング時には参加者にもダウンロードいただき実証実験。

⑥ ハイキングコースの英語化

⇒鉄輪完成。

<その他>

- ・本事業のPR活動を実施(大分合同新聞、ひるまえとんぼTV)
- ・合格証明書、合格者用名刺の作成

5 活動の成果

- ・別府八湯アンバサダー合格→認定者数 47名
- ・ハイキング参加者数

鉄輪:43名 浜脇・別府:11名 明礬:13名

- ・eラーニング受講者数

申込数:104名 修了者数:63名

本事業では、おおよそ3時間程度で温泉知識を学べるツールを作成できた。また、受講者40名に対してアンケートを行ったところ、6.5割がとても役立ちそう、3.5割がある程度役立ちそうと全員

が前向きな回答を行っており、高い満足度が得られた。また、ウォーキングは総合的に見て、9割近くの方に満足いただけており、今後も各コースを継続していきたい。アプリについては、ハイキング後も案内内容が見直せるから良いなどの声があった。また、英語化については、日本語の試験問題すべてを翻訳することに成功し、eラーニングを作成することもできた。また、英語ハイキングのコースの説明テキストの英語化については鉄輪については一般用、プロ用が完成した。今年一月末に英語のeラーニングが完成し、別府大学・溝部学園の留学生、また、別府市文化国際課・社会教育課の英語版のフェイスブックに英語版モニターの声掛けを行ったところ、3名の応募があった。うち1名が事業終了後に実施予定の観海寺ウォーキングの参加の希望をしている。

6 反省点や今後の目標

・学習内容について

一般的な温泉知識についての学習内容は充実していたが、別府八湯個別の紹介が少なくなってしまった。今後はより別府八湯らしさを強調した教材も作成していきたい。

・アプリについて

機種によるインストール方法の違い、またGPSの感度の違い等によるトラブルが多く発生した。そのため、今後本格的に導入を行う際はアプリ利用方法のサポート体制の強化が必要となる。

・英語のeラーニングのモニター募集の課題と、英語ウォーキングについて

翻訳量が想定よりも膨大なものになったこと、温泉用語の翻訳に専門性が必要なことなどが原因となり、翻訳作業が当初の計画よりも予算オーバー、時間オーバーとなってしまった。

また、英語版のeラーニングの応募人数が少なく、また、応募が補助期間終了直前となってしまったため、英語ウォーキングの実施が困難となってしまった。今回、日本人の目線で今回の試験問題等の準備を進めてしまったことが、外国人受講者が増えなかった原因の一つであると考えている。また、英語等ができるスタッフがいないと外国人受講者のトラブルに対応できない等の問題もあり、今後は運営体制の強化も課題となる。

【今後の目標】

英語版eラーニングの完成が1月になってしまったこともあるので、補助事業終了後ももう少しモニター募集を継続したい。また作成した鉄輪の英語版プロ用ガイドを用い、英語版、鉄輪街歩きを実施したい。また、日本語にある程度不自由していない留学生等には、日本語のウォーキングにも参加を促したい。

また、日本語版については、今後も別府温泉地球博物館の新しい資格として別府の onsen 文化を次世代に継承するため、引き続き運用を継続していく予定である。今後は、若い世代への働きかけについて教育機関や温泉課との連携を検討したい。観海寺や亀川など今回カバーできなかったエリアのコースも今後は充実させていきたいと考えている。